

数 学

<問題冊子>

令和8年度大学入学者選抜
(一般選抜 B 日程)

| | |
|--------------|-----|
| B 日程 受験番号 | B N |
|--------------|-----|

注意

1. 試験開始まで開かないこと。
2. 問題冊子は**表紙を含めて5枚**。
3. 問題冊子と解答用紙は別になっている。解答はすべて解答用紙の指定された場所に記入すること。
4. 受験番号を表紙に記入すること。
なお、大学入学共通テスト利用選抜2期と併願の受験生は、一般選抜 B 日程の受験番号を記入すること。
5. 問題冊子は切り離さないこと。
6. **問題冊子は持ち帰ること。**
7. 定規、コンパス、分度器等の使用は認めない。

一般選抜B日程 問題用紙 <数学> (4-1)

1 次の(1), (2)に答えなさい。

(1) 次の問いに答えなさい。

問1 次の式

$(\sqrt{3} + 2 + \sqrt{5})(\sqrt{3} + 2 - \sqrt{5})(\sqrt{3} + \sqrt{5} - 2)(2 + \sqrt{5} - \sqrt{3})$
を計算しなさい。

問2 k を定数とする。連立不等式

$$\begin{cases} x + 4 > 2k \\ 3x < 10 \end{cases}$$

をともに満たす整数 x がちょうど 5 個となるような k の値の範囲を求めなさい。

問3 $\triangle ABC$ において、辺 AB を $2:3$ に内分する点を P 、辺 AC を $4:1$ に内分する点を Q とする。線分 PC と線分 QB の交点を R とするとき、 $PR:RC$ を求めなさい。

(2) m を定数とする。2 次方程式 $x^2 - 2(m-2)x + m^2 - 4m + 1 = 0$ の異なる 2 つの実数解を α, β ($\alpha < \beta$) とする。次の問いに答えなさい。

問4 $\alpha + \beta, \alpha\beta$ の値をそれぞれ m を用いて表しなさい。

問5 $\beta - \alpha$ の値を求めなさい。

問6 $0 \leq \alpha \leq 1$ のとき、 m の値の範囲を求めなさい。

一般選抜 B 日程 問題用紙 <数 学> (4 - 2)

2 $\boxed{1}$, $\boxed{1}$, $\boxed{2}$, $\boxed{2}$, $\boxed{3}$ の 5 枚のカードを無作為に横一列に並べて 5 桁の自然数を作るとき、次の問いに答えなさい。

問 1 5 枚のカードを並べてできる自然数のうち、2 番目に小さい自然数と 3 番目に大きい自然数を求めなさい。

問 2 5 枚のカードを並べてできる自然数の総数を求めなさい。

問 3 作られた自然数が 23000 より大きくなる確率を求めなさい。

問 4 作られた自然数が偶数である確率を求めなさい。

問 5 作られた自然数が偶数であるとき、万の位の数が 1 である条件付き確率を求めなさい。

一般選抜B日程 問題用紙 <数学> (4-3)

3 数列 $\{a_n\}$ は、初項 60、公差 d の等差数列であり、 $a_8 = 18$ を満たすとする。次に、数列 $\{b_n\}$ は、初項 b 、公比 r の等比数列であり、 $b_2 = \frac{3}{2}$ 、 $b_5 = \frac{3}{16}$ を満たすとする。また、数列 $\{c_n\}$ は、 $c_1 = d$ 、 $c_{n+1} = rc_n + b$ を満たすとし、数列 $\{a_n\}$ の初項から第 n 項までの和を S_n とする。次の問いに答えなさい。

問1 d 、 b 、 r の値をそれぞれ求めなさい。

問2 $\sum_{k=1}^n k = \frac{1}{2}n(n+1)$ となることを証明しなさい。

問3 S_n の最大値を求めなさい。

問4 数列 $\{c_n\}$ の一般項を求めなさい。

問5 $\sum_{k=1}^n \frac{a_k}{6 - c_k}$ を求めなさい。

一般選抜B日程 問題用紙 <数学> (4-4)

4 k を定数とする。方程式

$$x^2 + y^2 - 4kx + 2y + k + 2 = 0 \quad \cdots \textcircled{1}$$

が円を表すとき、次の問いに答えなさい。

問1 $k = -1$ のとき、円の中心の座標と半径を求めなさい。

問2 問1のとき、直線 $x = -1$ と円で囲まれた部分のうち、小さい方の面積を求めなさい。

問3 定数 k の値の範囲を求めなさい。

問4 方程式①が直線 $y = -x$ と異なる2つの共有点をもつとする。2つの共有点の midpoint の座標が $(2, -2)$ であるとき、定数 k の値を求めなさい。